

# 平成21年度 京都府公立大学法人決算の概要

平成22年6月  
京都府公立大学法人

## 1 はじめに

本法人は、平成20年4月に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第2期目の決算を調製しました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、本法人の財政状況や運営状況を示したものです。

## 2 財務諸表の概要について

### (1) 貸借対照表（別紙1参照）

貸借対照表は、貸借対照日（3月31日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載した本法人の財政状態を示す書類です。

#### ① 資産の部<360億3千万円（対前期△6億1千2百万円）>

土地、建物、工具器具備品等の固定資産合計は257億4千4百万円、現金及び預金や未収金等の流動資産合計は102億8千6百万円となっています。

#### ② 負債の部<143億7千6百万円（対前期+11億4千9百万円）>

資産見返負債や京都府からの長期借入金等の固定負債合計は73億9千7百万円、寄附金債務や未払金等の流動負債合計は69億7千8百万円となっています。

#### ③ 純資産の部<216億5千4百万円（対前期△17億6千2百万円）>

資本金（法人化に伴い京都府から出資された建物等）は223億9千5百万円であり、利益剰余金は28億9千4百万円となっています。

### (2) 損益計算書（別紙2参照）

損益計算書は、一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの一年間）に属する全ての費用とこれに対応する収益を記載した本法人の目的別コストと収益構造を示す書類です。

① 経常費用< 3 2 2億5千万円 (対前期△2億6百万円) >

主な内訳は、教育経費4億3千7百万円、研究経費1億7千4百万円、診療経費1億1千5百万円、人件費1億7千3百万円等となっています。主な原因としては一般管理費の減が上げられます。

② 経常収益< 3 2 3億9千7百万円 (対前期△8千3百万円) >

主な内訳は、府からの運営費交付金収益7億2千万円、授業料収益1億7千1百万円、附属病院収益は1億9千4百万円等となっています。

附属病院収益、受託研究費等収益、財産貸付収入等が伸びている反面、運営費交付金収益等が減少しています。

③ 経常利益< 1億4千7百万円 (対前期+1億2千3百万円) >

経常収益から経常費用を差し引いた差額として経常利益1億4千7百万円、また収益から費用を差し引いた差額として当期総利益1億7千4百万円となっています。法人化後2か年が経過し、附属病院をはじめ、法人の一丸となった経営努力が成果として現れてきています。

なお、臨時損失と臨時利益については、固定資産除却損とこれに係る資産見返戻入等会計処理に伴うものです。

(3) その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における業務活動、投資活動及び財務活動の三つの区分に分けて資金収支の状況を示す書類です。

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。

③ 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え、法人運営上コストとなっているものを計上することにより、住民等が負担している全コストを明らかにするための書類です。

④ その他

上記の他に、貸借対照表や損益計算書等の内容を補足するものとして附属明細書などがあります。

## 貸借対照表(要約)

(単位:千円)

資産の部		固定資産		負債の部	
		有形固定資産			
		土地	57,745	資産見返負債	5,012,593
		建物	22,999,190	長期借入金	1,878,224
		工具器具備品	5,713,806	その他	506,721
		図書	1,414,268	<b>固定負債計</b>	<b>7,397,538</b>
		その他	314,630	運営費交付金債務	376,224
		減価償却費	△ 6,205,471	受託研究費等債務	378,187
		<b>有形固定資産計</b>	<b>24,294,169</b>	寄附金債務	1,555,734
		無形固定資産等計	1,449,831	未払金	3,752,940
		<b>固定資産計</b>	<b>25,744,000</b>	その他	915,628
				<b>流動負債計</b>	<b>6,978,716</b>
		現金及び預金	5,195,984	<b>負債合計</b>	<b>14,376,254</b>
		未収学生納付金収入	178	資本金	22,395,520
		未収附属病院収入	4,318,223	資本剰余金	282,821
		その他未収入金	289,319	損益外減価償却費	△ 3,918,584
		医薬品及び材料費	454,951	利益剰余金	2,894,401
		その他	27,754	<b>純資産合計</b>	<b>21,654,159</b>
		<b>流動資産計</b>	<b>10,286,413</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>36,030,414</b>
		<b>資産合計</b>	<b>36,030,414</b>		

注: 数値については単位未満切捨てにより作成しているため、合計値が一致しない場合があります。

## 資産見返負債(貸借対照表)と資産見返負債戻入(損益計算書)について

地方独立行政法人における会計基準では、資産を取得する際、運営費交付金や寄附金などを財源として取得する場合に、財源をいったん「資産見返負債」に振り替え、固定資産の減価償却に際して「資産見返負債」を「資産見返負債戻入」として収益に計上する会計処理をすることになっています。これによって費用・収益を均衡させることとなります。

## 特定資産の取扱いについて

設立時に府から現物出資を受けている有形固定資産については、収益を獲得することを目的としないものとして、「特定資産」としての指定を受けており、その償却資産については減価償却費を計上せず、「損益外減価償却費」を資本剰余金から差し引く会計処理をすることになっています。

## ◆主な財務指標

指標	算式	法人数値	備考
固定比率	固定資産／自己資本	118.9%	低い方が望ましい
固定長期適合率	固定資産／(自己資本＋固定負債)	88.6%	低い方が望ましい
流動比率	流動資産／流動負債	147.4%	高い方が望ましい
負債比率	総負債／純資産	66.4%	低い方が望ましい
総負債比率	総負債／総資産	39.9%	低い方が望ましい

損益計算書(要約)

別紙2

(単位:千円)

経常費用	業務費	
	教育経費	437,640
	研究経費	1,174,406
	診療経費	11,518,748
	教育研究支援経費	151,436
	受託研究費等	610,088
	受託事業費等	3,343
	人件費	17,331,498
	業務費合計	31,227,163
	一般管理費	978,649
財務費用	44,226	
経常費用合計	32,250,039	

経常収益	運営費交付金収益	7,280,879
	授業料収益	1,711,104
	入学金収益	216,291
	検定料収益	51,386
	附属病院収益	19,490,808
	受託研究費等収益等	695,186
	寄附金収益	1,026,351
	資産見返負債戻入	1,067,250
	財産貸付収入等	858,645
	経常収益合計	32,397,905

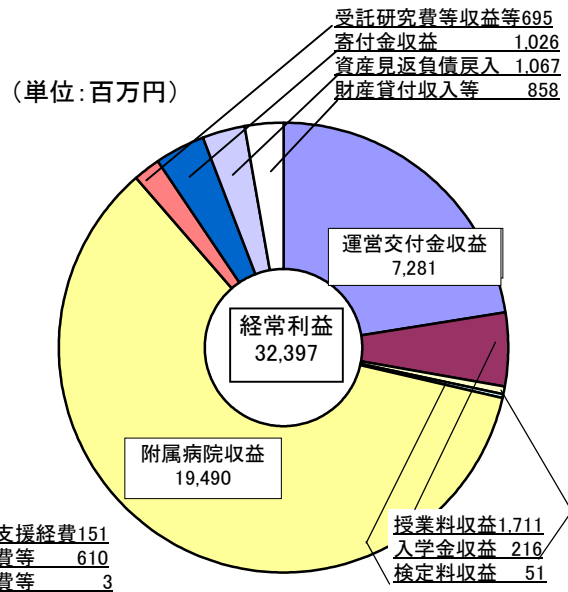
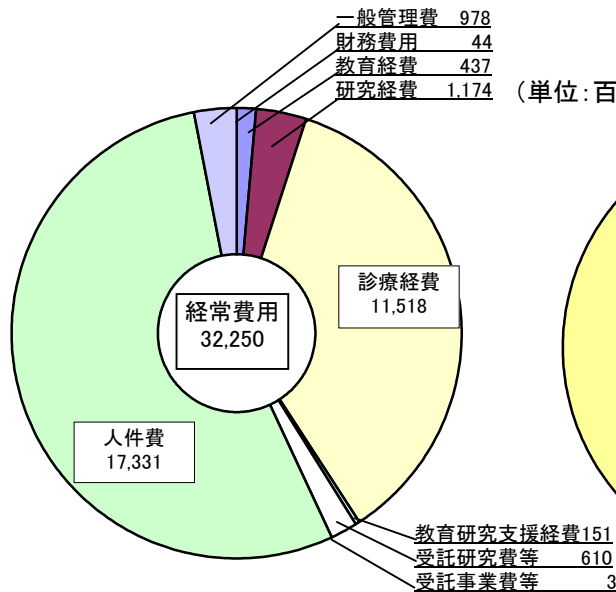
臨時損失	5,802
------	-------

臨時利益	8,363
------	-------

当期純利益	150,426
-------	---------

目的積立金取崩額	24,270
----------	--------

当期総利益	174,696
-------	---------



◆主な財務指標

指標	算式	法人数値	備考
運営交付金比率	運営交付金収益／経常収益	22.5%	低い方が望ましい
寄附金比率	寄附金収益／経常収益	3.2%	高い方が望ましい
人件費比率	人件費／経常収益	53.5%	低い方が望ましい
教育研究経費比率	(教育経費＋研究経費)／経常収益	5.0%	高い方が望ましい
一般管理経費比率	一般管理費／経常収益	3.0%	低い方が望ましい